



話題提供者 **東 悦子**  
(和歌山大学観光学部准教授)

**日時**：平成24年**9月19日**(水)午後**7時から8時半**  
**会場**：岸和田市立浪切ホール **4階 研修室1**

明治元年、わが国最初の契約移民153人が、さとうきびプランテーションで働くためハワイに渡航しました。その後も人々は希望を抱き仕事を求め、アメリカ・カナダ・オーストラリア、ブラジルなど世界各地へと海を渡ります。

全国有数の移民輩出県である和歌山県の事例を中心に、初期移民がどのように海を渡ったのか、移民先でどのような仕事につき、どのような生活を送ったのかを振り返ります。言葉も文化も異なる地で苦労を重ねる中、今日の日系社会の礎を築いた先人達の努力、勤勉さ、開拓精神などから、さまざまに学びたいと考えます。過去から現在へと人々の移動の軌跡を追い、近年労働のため来日している日系の人々の状況にも触れたいと考えます。

#### わだい浪切サロンとは？

毎月第3水曜日の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込みは不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

和歌山県を中心として、移民・移住の軌跡を辿る

# 海を渡った先人達

## 今後の開催予定

10月17日(水)

午後7時～8時半

特別支援教育の「特別」が意味することは？  
—「当たり前のこと（学習権保障）」をめざす特別支援教育—  
山崎 由可里（教育学部教授）

「当たり前のこと」を保障するための「特別」の意味について、具体的に考えてみましょう。

11/21 (水)・12/19 (水)・1/16 (水)・3/13 (水)・・・年間10回開催しています。

## わだいな浪切サロン参加者の声

(2, 8月はお休みです)

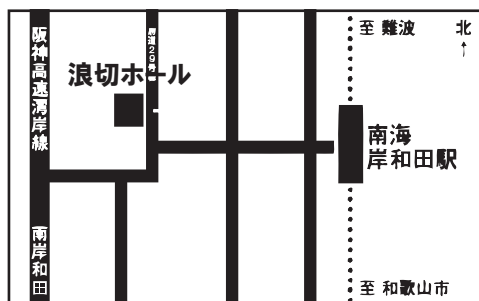
- ◇ 大変興味深い内容で、非常に楽しかったです。(20代・女性)
- ◇ 資料を豊富に用意して頂けたので、後の振り返りに良い。(40代・男性)
- ◇ 一ヶ月に2回位、回数を増やしてもらいたい。(70代・男性)
- ◇ すごくわかりやすく、今の自分が知りたいテーマだったので助かった。  
続きをお願いします。(30代・女性)
- ◇ 申し込み不要ということで来やすかった。(40代・男性)
- ◇ 終了後の自由参加の懇親会が楽しい。(60代・男性)

## 前回 名物で町おこし！

～和歌山ラーメンブームをつくった伝わる情報とは～

のアンケートより

- ◇ インターネットの普及とマスメディアが結びつきラーメンブームが出来上がったのがよくわかりました。
- ◇ ラーメンのお話からコミュニケーションの取り方、相手への伝達等よく理解ができました。



☆浪切ホールは南海電鉄「岸和田」より徒歩10分  
☆浪切ホールの駐車場がご利用いただけます。  
(平日終日無料)

お問い合わせ先：和歌山大学岸和田サテライトオフィス

〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F

TEL & FAX：072-433-0875

E-Mail：kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

ホームページ：http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/

ブログ：http://blog.livedoor.jp/agent920/